

平成 30 年 2 月 21 日付【日本下水道新聞】  
関東支部〈労働改善テーマに官民意見交換〉  
関東支部座談会

労働改善テーマ  
に官民意見交換

水コン協  
関東支部座談会

全国上下水道コンサル  
タント協会関東支部（管  
伸彦支部長）は1月26日、  
都内の水コン協会議室  
で、第31回下水道事業座  
談会を開催し、自治体ら  
と情報共有および意見交  
換を行った。

地方公共団体として関  
東地方1都8県（茨城県、  
栃木県、群馬県、埼玉県、  
千葉県、東京都、神奈川  
県、山梨県、長野県）、  
国土交通省関東地方整備  
局、JWS日本下水道事業  
団ら13人が出席。同支部  
からは管支部長はじめ幹  
部ら12人が出席した。

開会あいさつで管支部  
長は「昨今の働き方改革  
の情勢を受け、コンサル  
業界としても労働環境の  
改善に各社で取り組み、  
魅力ある業界づくりを進  
めている。それでも担い  
手確保が厳しい状況にあ  
る。労働環境の改善や担  
い手確保には自治体との



官民25人で意見交換



管支部長

連携・協力が不可欠で、  
今回の座談会を通じ議論  
を深めたい」と語った。

関東地方整備局建設部  
の秋山正人下水道調整官  
は老朽化対策、災害対策、  
広域化検討など、事業課  
題が多岐にわたる中で、  
コンサル業界はじめ民間  
企業・団体との連携によ  
る課題解決に期待を見せ  
た。座談会では、国土省  
関東地方整備局から「平  
成30年度下水道事業予算  
の概要」「工事等安全管  
理通達」に関する情報提  
供のほか、▽各事業体が  
抱える課題およびその取  
組み事例▽協会要望の  
「魅力ある上下水道コン  
サルタントの実現に向け  
た労働環境改善の推進」  
にかかわる取組み事例  
――を議題に、活発な意  
見交換が行われた。